2023年1月25日作成
１ブロック運営部

# ２０２３年度１ブロック大会について

■２０２３年度１ブロック大会は、東京都少年サッカー連盟大会要項【中央大会・ブロック大会共通要項事項】に準じる
http://www.u12tfa.jp/filename22.html

１．問い合わせについて
・大会参加にあたり不明な点がある場合には、ブロック委員長に連絡してください
＊「公益財団法人　東京都サッカー協会への直接の問い合わせ」はしないで下さい

２．大会に出場するにあたり
・大会参加書をアンケートにて提出する（１２月頃にアンケートを送ります）
・追加での参加、または参加を取り止める場合、早めにブロック委員長に連絡すること
・参加チームは必ず決められた会議、抽選会などに出席する
・会場注意事項は応援の保護者も含めて周知徹底する
・選手登録を事前に行うこと（大会によって異なる場合あり）
・貴重品の管理は各自、各チームで責任を持つこと
・選手、父兄は各自、ごみ袋を用意して、ごみは必ず持ち帰るようにする

３．大会当日
・選手証、選手証一覧（カラープリント）、大会専用メンバー表を持参すること
・大会専用メンバー表は手書きを禁止する（監督サインは手書きとする、背番号は手書きを認める）
・試合毎に大会専用メンバー表を提出する
・GKの戦略的交代がありユニフォームの番号がその際、異なる場合はあらかじめメンバー表に記載すること（例：１１／１）
・朝礼、終礼に参加すること（大会によって異なる場合あり）
＊朝礼後対戦チームでユニフォームの色、確認を行うこと（６　ユニフォームについてを確認すること）
・ピッチでのアップは前の試合ハーフタイムの際に行う（大会・会場によって異なる場合あり）
＊1試合目は開始10分前の5分間をアップで使用する
・試合開始３０分前（前の試合後半開始時）に所定の場所で選手チェックを行う（1試合目は試合開始15分前にﾍﾞﾝﾁ前で行う）
＊選手証、選手登録一覧表（生年月日）との照合、背番号、氏名（フルネーム）、用具（レガース・スパイク・爪）
・監督、コーチは選手の体調、負傷の状況把握をして、重大となる事故に発展しないよう管理すること
・本部にて、ベンチ入りする指導者全員の登録確認を行う（印刷・スマホどちらでもＯＫですが写真は必須）

４．競技規則
・試合は実地年度の日本協会【サッカー競技規則】および【８人制サッカー競技規則】に準じる。ただし連盟大会要項および各大会で定められた【大会要項細則】を優先する
・キックオフから、ボールが直接に相手ゴールに入った場合は、得点を認めず、相手のゴールキックで再開する
・試合時間は各大会要項細則による
・アディショナルタイムは、ＧＫ交代、負傷、飲水タイムの際に加算する。
・前半の試合開始時に両チームとも８人揃っていないと試合は開始されない
・試合の進行中に、フィールドに８人いない場合でも、試合は続行される
・交代は交代ゾーンを使用して【自由な交代】を採用する　＊GKの交代はアウトオブプレー時に交代とする
・基本ピッチサイズ：５・６年生大会は６８×５０m、３・４年生大会は６０×４０m
＊会場提供によっては基本サイズに近いサイズならＯＫとする
・試合球の空気圧は０．８ｋｇとする【ハトマーク4年とＴＯＭＡＳ3年大会は０．６ｋｇとする】
・試合毎にベンチスタッフは２名以上５人以内とする
・2023年度まではベンチスタッフ５人のうち1名以上が日本協会公認資格Ｄ級以上であること

本部にて、ライセンスの登録確認を行う
なお2024年度からはベンチに入る指導者全員が日本協会公認資格Ｄ級以上であることが必要となる予定
ただしメディカルスタッフまたはトレーナーとしてベンチ入りする１名は除く
・ベンチスタッフが立って指示する場合はテクニカルエリア内（エリアがない場合は立ったその場で）でお願いします
・ベンチスタッフはその都度１名とする
・ベンチ内での通信機器の使用は会話を含め一切できない
・ベンチでの指示は節度ある言動とする。行過ぎた言動とみなされるものについては退場等の処分の対象となる
・体罰は絶対に行わない。暴力的な言葉、懲罰的なマラソン等も体罰とみなされる。
・応援する保護者の言動にも留意する

６．ユニフォームについて
・実地年度の日本サッカー協会【ユニフォーム規定】および【通達事項（過去を含む）】に準じる
・正、副2着を持参すること。正、副のユニフォームは同じ番号とし、大会における選手番号は当該大会期間中、
同じ番号で選手固有のものとする（ﾁｰﾑ事情ある場合要相談）
・主審は、対戦するチームユニフォームの色彩が類似しており、判断しにくいときは両チームの立会いのもとその試合に着用する
ユニフォームを決定する
・ユニフォームのデザイン、ロゴなどが異なっていても、主たる色が同系色であれば着用することができる
・ゴールキーパーのショーツ、ソックスは最初からフィールドプレーヤーと同じでも良い
・ソックステープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同じ色でなくても良い。
また、チーム内での統一も必要ない
・アンダーシャツ、アンダーショーツならびにタイツの色は問わないが、チーム内では同色のものを着用する【ＴＯＭＡＳ3年大会は同色でなくても良
・新着ユニフォームを購入する際は連盟大会要項を確認ください。

７．審判について
・公式試合のすべての審判員は有資格者とする。ブロック大会においても同様とし、第４の審判員設置の場合も有資格者とする
・各大会の審判は一人制または三人制審判とする　＊「大会要項細則」による
・担当試合の審判員は選手チェックも担当する（３　大会当日、６　ユニフォームついてを徹底すること）
・本部にて、審判をする全員の登録確認を行う（印刷・スマホどちらでもＯＫですが写真は必須）
・担当試合の審判終了後、速やかにコート本部へ記録を報告すること

８．移籍について
・東京都少年サッカー連盟大会要項【中央大会・ブロック大会共通要項事項】に準じる
・三井のリハウス東京都Ｕ－１２ブロックリーグ／ＪＦＡ全日本Ｕ－１２サッカー選手権大会東京都大会
＊その年の前期リーグ終了までに選手の移籍や大会エントリーなどを完了していれば、移籍後の後期リハウスリーグ、全日本に出場する
ことができる（完了していなければ出場できないので注意すること）
・その他の大会
＊大会中に移籍の場合、同一大会への参加は認めない。ただし一度もエントリーされていなければ参加は可能

９．協力
・会場の準備、後片付けは、参加する全チームで協力すること
・選手や応援の父母などに事故が発生した場合は、自己責任とチーム内の協力体制で処置すること
・会場には原則、犬、猫などのペット類を連れてこない
・本連盟・運営本部、ブロック運営本部は「新型コロナウイルスの影響下における競技会、試合運営の基本方針」ならびに
「熱中症対策ガイドライン」に基づき、競技会や大会ならびにチーム活動において「競技者の安全・安心を最優先」と、
「スムーズでフェアー」な大会運営を行なっており、サッカーにかかわるすべての人たちは、理解と協力を行なうこと